

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 3・4 教科・領域 学級活動・道徳 単元・題材等 万引防止指導（万引防止教室）

単元・題材等の目標 万引はいけないことであるということを、専門的な立場から指導を受け、社会のきまりを守る公德心を育てる。

○活用できる学校外の人材と内容等

少年警察補導員など

*来校してもらい、教師とのチームティーチングで専門的立場から指導をしてもらう。

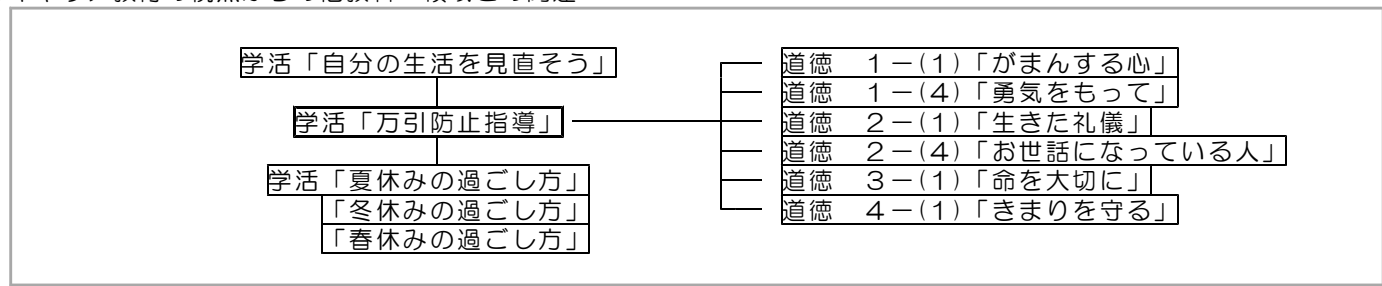
○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

b>

- ・万引防止の話や役割演技などで、お世話になった人に感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・聞かれて思ったことや考えたことをみんなの前で分かりやすく話す。【**コミュニケーション能力**】
- ・してよいことと悪いことが分かり、自制する。【**選択能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント

活用前の指導では



- *小学生による万引等の実態や意識調査などの資料を準備しておきましょう。
- *来校される少年警察補導員等との当日の役割分担等について確認しておきましょう。



活用時の指導では



- *考えたことや思ったこと、その時の気持ちなどを正直に言えるような雰囲気を作りましょう。
- *物を盗むことは犯罪であり許されないことであることを、具体的な事例を通して分かせましょう。



活用後の指導では



- *振り返りシート等を用い、万引防止教室の意義について振り返らせましょう。
- *児童の意識や評価を集計・分析し、以後の活動や指導に役立てましょう。
- *家庭でも話し合いを行わせるなど、万引の防止に対する保護者の理解を得るような働き掛けを行いましょう。

○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

- ①学習内容について知ろう
- ◆万引防止教室が行われることを知る。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●小学生の万引等の実態や意識について知る。 ●万引防止教室の内容や来校する人について知る。 <p>次の時間は、警察の方が来て万引についての話をしてくれるんだ。どんな内容なのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実態調査や意識調査などの資料を提示し、問題や課題に気付くようにさせる。 ○来校し指導してくれる人や万引防止教室の大まかな内容について知らせ、意欲を高めておく。 <p>次の時間には、警察の方が来て話をしてくれます。</p>

評価の観点 ・万引防止教室が行われることを知り、学習に対する意欲をもつ。

活用時の指導

- ②万引防止教室に参加しよう
- ◆少年警察補導員等の協力のもと、万引はしてはいけないという学習を行う。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●はじめのあいさつをし、本時の学習内容について知る。 ●それぞれの場面で自分はどのような行動を取るかを考える。 <p>【自他の理解能力】 【コミュニケーション能力】 【計画実行能力】 【選択能力】</p> <p>断るということは、とても勇気がいることだと思います。だけど、自分の意見をしっかり言おうと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を知らせるとともに、来校された人の紹介をする。 ○いくつかの場面を提示し、それぞれの場面でどのような行動を取るかを考えさせ、発表させる。 ○教師と補導員との役割演技を見ての感想や、実際に児童に役割演技を行わせるなど、児童の内面に根差した考えや感想を引き出すようにする。 ○普段の生活の中でも同様な場面はないかを語りかけ、身近な問題であることを実感させる。 <p>似たようなことって、見たことないですか？</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●本時の学習で気付いたことをまとめる。 <p>万引は絶対にしてはいけないと思いました。欲しい物があっても我慢します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○気付いたことを約束として発表させるなどして、約束を守ろうという意識をもたせる。 <p>お金がなくて、欲しい物があったらどうする？</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●今日の授業の感想を発表し、終わりのあいさつをする。 <p>【自他の理解能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめの話をし、万引防止教室を終わりにする。

評価の観点 ・万引は悪いことでしてはいけないことであるという判断ができる。
・自分の意思ではっきりと考えを言ったり、行動に移したりできる。

活用後の指導

- ③万引防止教室の意義について考えよう
- ◆振り返りシートの記入や自己評価を行い、万引防止教室を振り返る。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●万引防止教室でやったこと、学んだことなどを振り返る。 <p>大切なことは、自分の意思をしっかりとって、はっきりと自分の考えを言うことだと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートへの記入などを行い、分かったこと、感じたこと、これから心掛けること、などを発表させる。 ○児童に意識調査や評価をさせると、それを集計・分析することにより、以後の指導に生かすことができる。
<ul style="list-style-type: none"> ●万引防止教室の感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の話でまとめるとともに、家庭でも万引防止教室の内容や学習したことを話すように伝える。

評価の観点 ・万引防止教室の意義を考え、確認することができる。